

弘前圏域定住自立圏連携施策の実施状況【平成25年度末】

— 未着手 — 実施 — 拡充実施 — 計画

政策分野	分野	取り組み	取り組みの内容	平成25年度の取り組み	実施状況 (平成25年度)	今後の予定 (平成26年度)	スケジュール	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	進捗状況
1 生活機能の強化	医療	救急医療体制の維持及び充実	圏域の救急医療体制を確保するため、休日・夜間救急診療体制を維持するとともにその充実を図ります。	・休日・夜間急患診療体制の維持 ・休日在宅医診療体制の維持	・休日・夜間急患診療体制（弘前市急患診療所）を維持しました。 ・休日在宅医診療体制を維持しました。	・休日・夜間急患診療体制の維持 ・休日在宅医診療体制を維持	急患診療所の運営						実施
							休日在宅医診療						実施
	福祉	子育て支援の充実	圏域の住民の子育て支援の充実を図るため、弘前市が行う特別保育事業を圏域に拡大し、圏域全体として安心して子育てができる環境を整備します。	・特別保育事業（一時預かり、休日保育など）の実施	・特別保育事業を他市町村の住民が利用できる環境は整っており、補助金を受け当該事業を実施している各保育所等が、他市町村の住民についても個別に相談を受け、対応しています。 ・他市町村の住民の利用状況は、月毎に把握しています。	・特別保育事業（一時預かり、休日保育など）の実施	特別保育事業の実施						実施
教育	学校給食の充実	弘前市が設置する学校給食センターから黒石市の学校給食未実施校に対して学校給食を提供するため、その時期及び内容等について継続的に検討し、検証を行い、学校給食の提供を行います。	・弘前市の学校給食センターにおける提供可能食数の検討・検証 ・黒石市の小学校における給食の実施計画の検討	・黒石市立小学校の給食室、受入口整備の参考とするため、弘前市東小学校の給食室を視察しました。 ・引き続き黒石市立小・中学校の適正配置計画（統廃合）の現状と給食実施に向けた打ち合わせを行いました。（2回） ・東部学校給食センターは、開設から15年を経過し、施設設備が老朽化していることから、計画的な機器、施設の更新を行います。機器更新については、黒石市の給食を提供できるような能力をもったものを選定していきます。（今年度は揚物機とフードスライサーを更新し、床下配管改修いたしました。）	・弘前市の学校給食センターにおける提供可能食数の検討・検証 ・給食施設改修、設備更新の検討 ・小学校実施計画の見直し ・スケジュールの変更	提供可能食数等検討及び検証							実施
						小学校実施計画	→					実施済	
						小学校実施準備		→				未着手	
						小学校給食実施						（順延予定）	
教育	学校教育環境の整備【東目屋・西目屋児童生徒等交流事業】	西目屋村から弘前市への中学校教育事務委託の実現のために、学校教員、保護者、地域住民及び教育委員会職員による東目屋・西目屋児童生徒等交流推進協議会において意見交換し、学校間及び地域間の交流を推進する。	・地域間交流の推進 ・事務委託の協議	・協議会を2回（6/5, 2/17）開催し、交流事業内容について検討しました。 ・交流2年目となり、協議会による交流事業以外の場所でも双方で参加するイベントが増えるなど、交流の機会に広がりが見られました。 ・2月13日に双方の教育長が面談し、これまでの進捗状況や、今後の事務委託の協議のスケジュールについて再確認しました。 ・制服等の学用品、学校生活のきまりなど学校運営に係る事項については、双方の中学校間で確認作業を進めています。	・交流事業の継続 ・事務委託に伴う規約の作成	地域間交流の推進							実施
						事務委託の協議						実施	

弘前圏域定住自立圏連携施策の実施状況【平成25年度末】

— 未着手 — 実施 — 拡充実施 — 計画

政策分野	分野	取り組み	取り組みの内容	平成25年度の取り組み	実施状況 (平成25年度)	今後の予定 (平成26年度)	スケジュール					進捗状況				
							24年度	25年度	26年度	27年度	28年度					
1 生活機能の強化	産業振興	農作物猿害防止体制の構築【農作物猿害防止体制事業】	農作物猿害の軽減に向けて、弘前市、西目屋村地域における猿の生態を調査し、検証するとともに、総合的な調整を図りながら、連携による農作物猿害防止体制の構築に取り組みます。	・猿の生態調査 ・巡視員の連携	・猿の生態調査は、県が12月から委託により実施している。 ・弘前市では、8月から12月まで巡視員2名を雇用して捕獲用おりの試験設置等を実施したが、西目屋村との巡視員の情報交換や捕獲用おりの共同設置まで連携できなかった。 ・GPS・タブレット端末の巡視活用を検討し、新無線センサシステム・振動発電デバイスの実験に参加した。	・県の生態調査への協力。 ・巡視員業務の軽減により巡視員を確保し、情報交換や捕獲おりの共同設置など、巡視員の連携。 ・6月からのGPS、タブレット等を活用したシステムの構築。(探索器による監視体制の検証)	猿の生態調査		→					→	実施	
							巡視員の連携					→				未着手
							探索器による監視体制の検証									
産業振興	食産業の育成	圏域の豊富な農産資源等を活用した付加価値の高い商品づくりや販路開拓に取り組む事業者を支援するための体制を整備します。	・食産業に精通した専門家の配置 ・事業者や生産者へのアドバイス、コーディネートの実施	・外部専門家を委嘱し、事業所、生産者に対するアドバイス、コーディネート活動を実施しています。 ・東京と大阪で開催された展示商談会「アグリフードEXPO」へ出展し、のべ12事業所が出展しました。 ・本年度は43事業所延147件の相談に対応し、技術相談やビジネスマッチング等に成果を挙げています。	・食産業に精通した専門家を配置し、主に商品化に係る支援を行う。 ・販路拡大に向けた展示商談会へ出展します。	専門家の配置								→	実施	
						見本市への出展									→	実施
産業振興	企業誘致活動の推進【企業誘致圏域連携事業】	地域の雇用確保及び経済の活性化を図るため、圏域市町村と立地に係る情報を共有し、圏域全体としての立地環境、魅力や強みを企業へ情報発信するなど、圏域一体となった企業誘致活動を展開し	・ガイドブックの作成 ・情報発信	・弘前圏域の立地環境等を掲載する企業立地ガイドを作成した。 ・1月29日～30日に、さいたま市で開催されるビジネスマッチングイベント「彩の国ビジネスアリーナ」へ出展し、立地環境や優遇制度等を情報発信するとともに企業・団体からの情報収集を行った。	・産業立地フェアへ出展し、立地環境等の情報発信を行う。	ガイドブックの作成								→	実施	
						情報発信									→	実施
観光振興	広域観光商品の充実	圏域への誘客につながる広域観光商品の充実を図るため、圏域に求められる観光ニーズを調査、検証するとともに、観光商品を開発する首都圏の旅行代理店等へ効果的な情報発信を行います。	・圏域に求められる広域観光商品についてニーズ調査・検証 ・首都圏等での観光PR	【調査検証】 ・周遊旅行商品体験ツアーを企画し、12月28日より募集を開始(じゃらん2月号)し、2月14日～16日の行程で実施いたしました。 【情報発信】 ・県観光連盟の首都圏キャンペーンとコラボし、全3か所に5市町村を派遣し、広域観光PRを実施しました。	・商品造成に向けたコンテンツを磨き上げ、より効果的な首都圏等でのPRを予定。	調査検証	→								→	実施済
						情報発信										

弘前圏域定住自立圏連携施策の実施状況【平成25年度末】

— 未着手 — 実施 — 拡充実施 — 計画

政策分野	分野	取り組み	取り組みの内容	平成25年度の取り組み	実施状況 (平成25年度)	今後の予定 (平成26年度)	スケジュール					進捗状況		
							24年度	25年度	26年度	27年度	28年度			
1 生活機能の強化	地域防災	広域備蓄体制の整備	大規模・広域的な災害の発生時に被災民に対して的確に対応するため、青森県と連携しながら、燃料、毛布、飲料水等の物資を備蓄する体制を整備します。	・備蓄計画の策定 ・物資整備・運用開始	・昨年度と同様に、県に対して備蓄拠点の整備や物資購入について要望書を提出したところ、県の回答は「県内市町村における現物備蓄の確保に向けた取組状況等を把握し、平成24～25年度に実施予定の地震・津波被害想定調査に基づく被害規模や避難者数等も踏まえ、検討を進めていく。」と言う、同様の回答でした。 ・今年度中に弘前市における備蓄計画を策定する予定でしたが、平成26年度早期に策定することとなりました。	・圏域での備蓄の方向性について、圏域市町村で改めて協議・確認	課題等の整理	→						実施済
							備蓄計画の策定	→	→					未着手
							物資整備・運用開始					→	→	未着手
地域防災	合同防災訓練等の実施	大規模・広域的な災害の発生時に、自治体及び関係機関が連携した対応ができるようにするため、組織間連携の確認と向上を目指した合同防災訓練を実施します。	・合同訓練実施 ・合同研修会実施	・合同防災訓練は、8月21日に実施した弘前市総合防災訓練に圏域市町村も参加しました。 ・合同研修会は、台風第18号などの影響もあって実施できませんでした。	・合同防災訓練の実施 ・合同研修会の実施	実施要領検討	→						実施済	
						県防災訓練への参加	→					実施済		
						合同訓練実施					→	→	実施	
						合同研修会実施					→	→	未着手	
環境	し尿処理の広域化	汚水処理等を効率的に行うため、圏域のし尿等を一括して処理する施設を設置します。	・建設工事等	・5月17日 第1回担当課長会議を開催し、事業概要とスケジュール確認を行いました。 ・9月17日 平成25年度社会資本整備総合交付金事業の施行に係る措置に関する協定の締結を行いました。(3月20日 補正追加分による変更協定を締結) ・11月15日 し尿等受入施設(土木・建築)工事及びし尿等受入施設(機械・電気)設備工事請負契約を締結しました。 ・11月27日 第2回担当課長会議を開催し、平成26年度の各市町村の負担金の予算措置依頼をしました。	・建設工事を行う。	実施設計等	→						実施済	
						建設工事等						→	→	実施

弘前圏域定住自立圏連携施策の実施状況【平成25年度末】

— 未着手 — 実施 — 拡充実施 — 計画

政策分野	分野	取り組み	取り組みの内容	平成25年度の取り組み	実施状況 (平成25年度)	今後の予定 (平成26年度)	スケジュール					進捗状況	
							24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
1 生活機能の強化	環境	カラス対策の連携【カラス対策連携事業】	カラスによる被害を軽減するため、連携して被害状況を、個体数等を調査し、検証するとともに、検証結果に基づき、広域的かつ効果的なカラス対策を検証し、実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有 ・合同調査、検証 ・エサ断ち対策 ・その他対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月22日開催の第7回弘前市カラス対策連絡協議会に黒石市の担当者が出席し、情報を共有しました。 ・ごみ集積所において、ネットから集積ボックスへの推進を図りました。 ・10月26日に平成25年度第1回合同個体数調査を実施しました。 ・11月21日開催の第8回弘前市カラス対策連絡協議会に黒石市の担当者が出席し、平成26年度の連携事業の進め方について協議しました。 ・合同個体数調査を平成26年1月25日、2月22日に実施しました。 ・これまでの情報等を分析し、「その他対策」を協議検討していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有。 ・合同調査、検証。 ・エサ断ち対策。 ・その他対策の検討。 	情報共有						実施
							合同調査・検証						実施
							エサ断ち対策						実施
							その他対策						未着手
2 結びつきネットワークの強化	地域公共交通	圏域公共交通ネットワークの再構築及び利用促進	地域公共交通の確保と利便性向上に向けて、圏域における地域公共交通の実情を調査・検証するとともに、総合的な調整を図りながら、交通事業者と連携して、圏域の公共交通ネットワークの再構築と利用促進に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・弘前圏域公共交通計画の策定（継続） 	<ul style="list-style-type: none"> ・弘前圏域内のバス路線である五所川原線に関して、五所川原市の病院再編に併せて、県及び関係市町村で路線の再編を協議した結果、平成26年4月1日から再編後の路線で運行を始める予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県と連携し路線の見直しを検討する。 	公共交通計画の策定						実施済 (実施済)
				<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通利用PRパンフレットの配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の現状等に関する情報収集を行い、公共交通の現状や交通事業者の取り組みなどを掲載したパンフレットを作成しました。 (納期の関係で4月以降配布予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状等の発信だけでなく、利用促進に繋がるアイデア等を募集し、圏域内で検討する。 	利用啓発活動の実施					実施	

弘前圏域定住自立圏連携施策の実施状況【平成25年度末】

— 未着手 — 実施 — 拡充実施 — 計画

政策分野	分野	取り組み	取り組みの内容	平成25年度の取り組み	実施状況 (平成25年度)	今後の予定 (平成26年度)	スケジュール						進捗状況	
								24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
3 圏域マ ネジメ ント能 力の強 化	圏域 市町 村職 員の 交流	圏域市町 村職員の 育成	圏域市町 村職員の 能力の向 上及び連 携強化を 図るため 、合同研 修を実施 します。	・圏域市町 村職員合 同研修の 実施 ・圏域職員 政策提言 事業の実 施	<ul style="list-style-type: none"> ・7月2日に圏域職員政策提言事業を実施しました。 ・8月～1月に掛けて、定例研究会を実施しました。 ・10月10日、11日に中堅職員研修を実施しました。 ・11月13日、14日に地域力向上研修、19日にメンタルヘルス研修を実施しました。 ・1月24日文書作成力向上研修を実施しました ・2月7日政策提言事業報告会を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域市町村職員合同研修の実施。 ・圏域職員政策提言事業の実施。 	合同研修の実施							実施
							圏域職員政策提言事業							実施